

Title	金融会社の先駆及其類例 (二)
Sub Title	
Author	船尾, 栄太郎
Publisher	三田学会
Publication year	1914
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.8, No.3 (1914. 4) ,p.351(97)- 359(105)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19140400-0097

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

あるは上掲の數字の明示する所なりとす。要するに、吾人の指摘せんと欲するは他なし、陸海軍費並に所得税及び遺産税の増加は全く軍備擴張煽動に關する國際的祕密盟約者、軍備擴張派に屬する新聞紙並に此兩者に隸屬せる専門家が英國及び大陸に於ける陸海軍人の大多數を後援として運動せるの結果に過ぎざると即ち是れなり。此現象たるや頗る複雑にして其眞想を穿つこと容易ならざる所なるが、之に依りて暴利を貪れるはクラップ一派の軍器供給者にして、全世界は其犠牲に供せられつゝあるなり。吾人の耳にしたる當局者の自白に據れば、各國政府は其運動に抵抗するよりは寧ろ我を折りて軍備擴張費をば富豪に負擔せしむるを早道なりと思惟しつゝあり。政府が之を下層階級の負擔に歸せしめざるは、總選舉の結果を悞るゝを以てなり故に現今に於ける財産に對する増稅的傾向は富有階級が抗議を爲す迄繼續するならんと思はる

目下此階級は從順に納稅の義務を盡しつゝありて、軍備擴張派に屬する新聞紙は其愛國心の旺盛なることを稱揚せり。

金融會社の先驅及其類例 (二)

船尾榮太郎

第二章 獨逸の發行銀行

獨逸に於ては企業設立及び其の金融を總ての信用業務と結合し、(當初間々紙幣發行業務をすら包有して) 又一方常に預金事務と結合して經營せる所謂證券銀行又は發行銀行なるものを生ずるに至れり、獨逸發行銀行の事に關しては、
「サットラー、モーデル、レーブ、ヴェーバー、リ
ーザー・イエイデルス等の著書を参照すべし。尙
仔細に之れを觀察すれば矢張り所謂大發行銀行
中にも其の金融事業に關し數多の差別ある事を
知り得べし。而して是等の銀行は、企業を株式
組織に變更する事即ち本來の意味に於ける會社
設立業務を取扱ひたり、即ち差當り銀行に取り

多くの資金を必要とせず却て曩に授與せる個人信用を現金化するに資する彼の本來の意味に於ける會社設立業務を取扱ひたり、之れに反し企業會社の創立及び之れが爲めにする資金の調達に各銀行各別の發展を爲せり。

例を獨逸銀行に見るに同行は他の銀行殊に其の最大の競争者たる「割引會社」(Diskontobank)と反對に九十年來の初期以來「マンネスマン」(Mannesmann)水管事業等に關し自ら企業設立に關係するに至りたるも更に近來に至り、著しく其の業務を當座取引業務に局限せんと努めつゝある形跡あり。何れにせよ獨逸に於ては未だ純然たる信用銀行の發達を認めざるなり。

以上の如く大規模なる株式銀行が會社設立及び金融界に於て、演ずる活躍と共に、個人銀行者の斯界に於ける活動を看過すべからず。而して其の業務分擔の區々たる事は株式銀行の比に非らず。個人銀行家の業務中には(一)専ら資金借

り入れの引受其の他の信用業務に限るあり。或は(二)國債募集の媒介に關して、諸國の政府と關係を有つ外純然たる預金銀行たるあり。或は(三)殆ど證券賣買及び金融業をのみ其の専門となすものあるなどの如し。(一)及(二)に屬するは、獨逸最大の個人銀行「メンデルスゾーン」會社其の適例にして(三)の典型としては「カール、ノイブルゲル」商會を擧げ得べし。同商會は「フエールステン」聯合の關係に依り、會社設立のため多大の資金を左右するを得たりしが、其の後、該聯合が商業同盟と共に同商會より分離せし以來は最早此の方法に據ること能はず、小都會に預金取扱店及び代理店を設けて、資本を蒐集し、之れを會社新設に放下するを常とせり。千九百七年に至り「カール、ノイブルゲル」商會は組織を變更して株式による合資會社となし、同年七月一日の創業第一回貸借對照表によるに基本金五百萬馬に對し借入金四百十七萬五千六

百四十三馬を數へ其の内二百五十萬馬の預金あり。(過半は長期のもの)而して貸出金額は、約三百萬馬にして、主として同會社の關與せる工業的企業に對する債權にして別に此種有價證券の所有高(素より此の内には確實の收入ある證券を含む)約四百萬馬に上れり。更に之れを翌千九百八年六月三十日の對照表に較ぶるに借入金略四百萬馬、其の内預金額は僅に百二十萬馬に減じ、手形引受勘定五十七萬九千馬は同會社が隸屬會社と密接の關係を有するを示し、四百七十萬馬を下らざる、貸出金は同銀行により設立せられたる企業に對し信用を授與すること益益頻繁なるを表はし、更に證券勘定に至りては二百六十萬馬に降下し、内六十二萬七千馬のみ收入確定と見るべき有價證券なり。特に注意すべきは、同會社の不動産所有額の多大なる點にして、土地三十二萬九千馬、建物略百萬馬以上會社敷地亦略同額に上、之を合せて抵當に附し

約百五十萬馬を借入れあり。其他土地獲得契約に據る權利見積價格三十三萬七千馬を有し、總利益を構成するものは、證券及引受より三十七萬四千馬、利子二十三萬五千馬、手数料十二萬八千馬なりき。然るに千九百十年に至り、同會社は不幸破綻の悲運に遭遇し輕舉同會社に現金を委ね回収困難なる事業に融通せしめたる公衆は爲に多大の損害を被りたり。

既に敘説したるが如く本來の短期信用業務は設立、金融其他の證券業務並に土地取引業務に比し甚しく輕視せられたり。此の傾向の更に著明なるを伯林に於ける「マックス、ウルリツヒ」株式合資會社とす。こは純粹なる設立及金融會社にして、殆んど銀行的性質を具備せず、危険なる事業を設立し、其の間に利益を求め來りしが千九百十一年一月遂に破綻して清算の止むなきに至れり、其の際株式資本二十萬馬に對し百萬馬以上の缺損を生じ居たりと云ふ。他に同會社

は「ライプチツヒ」市に一個の隸屬金融會社を設立し「サクセン」礦業及工業銀行株式會社と名づけしが、之れ亦千九百十年資本五十萬馬に對し缺損十六萬一千馬に上り、遂に千九百十二年清算をなすに至れり。

「マックス、ウルリツヒ」會社は或は單獨に、或は上述「サクセン」銀行及び他の金融會社即ち伯林に於ける有限責任會社獨逸錫礦利用「シンジグイト」と協力して中央「バルバラ」シユルフ、グリュツク「ベルクフライエテ」「アルベルト」礦山等の礦山企業「ホーヘンスタイン」「ホーンズルヒ」「パウルス」「ツオイス」等の石油事業及び千九百八年一躍資本額を増加して二十萬馬より五十萬馬をなしたる土地取引株式會社を設立したり。方今多くの個人銀行が、之れと類似の性質を帶ぶるは歴然たる事實なるが七十年代に於ける此の種の個人銀行の類は更に夥しきものありき。

斯くの如き性質の會社が他人の資本を使用する
度合減少するに従ひ益々本來の金融會社に近接
するに至るべく發行銀行が金融銀行と變せん
する點亦常に茲に存す此種會社の設立者が自己
の資本を以て冒險的放手をなすも、多くの場合
其の資本は少額に止まるが故に、國民經濟上重
要なる關係を有せざる筈なれども、事實は必ず
しも然らず。破綻相踵いで起り、有力なる商業
新聞の痛呼警告する所あるに拘らず尙是等の會
社が汎く其の資金の調達に成功する所以のもの
は、常に輕信なる公衆が單に配當の高率なるに
眩惑せらるゝに外ならずとす。

第三章 佛國の「バンク、ド、グ

レヂ」と「バンク、ダツ
フエール」

獨逸にありては各種の信用及び金融業務（現今
發行業務には遠ざかれるも）を集聚したる萬屋

務を重んぜず専ら廣汎なる手形及取引猶豫仲買
業務、特に發行業務に力を入れ別種の發展を爲
したるものあり。

上述の三大銀行中「バンク、ド、クレヂ」と、之れ
に隸屬する地方銀行の一團とを他の者を區別す
る爲め世人は夙に之れを名づけて金融會社と
云へり、近來更に實業銀行の稱を以てするに
至り同時に金融會社の名稱は今や、信託會社に
限り用ゐらるる事となれり。然りと雖も其の別
稍漠然として彼此の間截然たる區別を立つる事
困難なり。此れ等の實業銀行は發行會社と云
ふべくも金融會社と稱すべからず。何となれば
實業銀行は證券代位の業をなさず、只自己の作
成し又は買入れたる證券を迅速に賣出すに止ま
るを以てなり、素より自己の作成したる證券を
手元に所有すること多額なれば自ら證券代位も
行はるべく爰に至て其の企業は金融會社と變ず

銀行が今尙ほ斯業の模範となり、近頃成立せる
多くの金融會社、亦、多少之れに傾く所あり、然
るに佛國にありては既に早くより斯業に特別の
専門を開きたり、古來佛國は銀行業の試験地に
して、夫の動産銀行以來、同種の大銀行の設立を
見ること屢々なりき。殊に千八百七十八年より
千八百八十二年の好景氣に際し、巨大なる資本
を擁する投機銀行數箇の成立するあり。其の著
名なるものを「ソシエテ、ド、リュニオン、ゼネラ
ル」となす、尤も其の大部分は間もなく倒産した
るが此等動産銀行の模倣者と稱せらるゝものゝ
内發行銀行として分立したる大會社三個あり。
曰く「クレヂ、リオネ」。曰く佛國商工起業會社曰
く「國民割引銀行」之れになり。以上は常
に發行業務を開却し、英國の株式銀行の例に
從ひ専ら純然たる預金銀行たらんことを勉めし
めしものなり。此種會社と對立して久しき以前
より二三の銀行は、正反對の進路を取り預金業

るに至るべし。然るに佛國にありては放手を求
むる資本の性質上證券發行の大部分は國債なる
を以て之等の銀行が工業會社に金融し又は、其
の證券を發行するは國內のものにあらずして主
として外國會社に對するものなり。これ佛國工
業進歩の速度甚だ遅々たるによる、故に若し一
會社が其の金融業務に關し、外國企業に重きを
置くこと愈々大なれば其業務は益々金融會社に
接近するに至るべし。何となれば此の種外國企
業の證券は國債の如く迅速に公衆に賣り放ち能
はず自然自己の手持ちとなる事多ければなり。
此の實業銀行に屬する最古の銀行は「パリス及和蘭
銀行」にして千八百七十二年、一億二千五百萬法
の拂込資本を以て設立せられ千八百七十八年資
本を六千二百五十萬法に半減し、千九百七年再
び七千五百萬法に増資したるものなり。同銀行
は英國融通會社の業務を會社設立及び發行業務

とを結合したるものにして預金業務に至ては全く行はず。「ヘーゲマン」の言に據れば其の借入金は主として同行が其の國債を發行したる處の外國政府の預金より成ると、同行が方今諸外國政府の金融機關として一方の重鎮をなし、「ロスチャイルド」家の壘を摩するに至れり。同行は廣く工業的企業に對し融通するも佛國現下の國情に應じ主に外國企業に金融するなり。千九百十年同行は略一億法の證券を有し、之れに加ふるに、關與株券の額三千五百五十萬法あり證券の内譯は國債二十八種、株式三百二十一種社債五十八種にして關與株券の中には九十四個の事業含まれ、最も高きものは銀行業なり。同行は又廣き範圍に涉りて、取引猶豫仲買業務及び手形仲買業務を營み其の盛なる事貸借對照表上資産の部に於て八千三百萬法及び六千七百七十萬法の數字を示し別に擔保貸付額四百七十萬法に

上るあり。然して、其の證券擔保貸付銀行及び發行銀行たる性質上其の利益は變動眞に常なく「ヘーゲマン」の引用する數字によれば總利益の變動は百萬法を單位とし、

一九〇〇	八、八
一九〇一	六、七
一九〇二	九、五
一九〇三	九、〇
一九〇四	一九、四
一九〇五	一〇、八
一九〇六	二六、五

の如し。之れにも拘はらず、同期間に於ける配當は單に五十法より六十法の間一割乃至一割二分一を上下せしに過ぎざりしは、好景氣の時も僅に其の純益の少部分を配當し、他は、之れを積立金に繰り入れたるに因るべく之れが爲め積立金額は實に株式資本額を超過するに至れり。

千九百九年以來は其の配當率を一割五分に高めたりと云ふ。

第二の實業銀行は千九百一年、前大藏大臣「ルヴィエ」氏によりて設立せらる。即ち同氏は其の統率の下にある、バンク・イン・ザ・リパブリックの銀行を佛蘭南亞銀行と合併して、佛蘭西商工銀行を造り、同銀行は南亞礦山株の爲めに、特殊の引受會社を設立し名づけて、ソムマニオン・イン・ザ・リパブリック有限責任佛國金礦及南亞會社と稱せり。佛蘭西商工銀行は普通銀行業務を取扱ひ完全なる獨逸の發行銀行に相當す。只特に取引猶豫仲買業務を重要視する點のみ異なれり。其の資本六千萬法借入金一億九千三百七十萬法手形有高九千三百六十萬法、證券及び關與額二千七百四十萬法、取引猶豫額九千七百七十萬法貸付千五百萬法其の他貸出金三千二百五十萬法を計上す。巴里銀行に於ても、後に述ぶる銀行に於ても、又此の商工銀行に

於ても其の貸借對照表上の數字を本著書第一版（千九百八年）に示したる數字と比較せば、此等各銀行が近年に於て驚くべき發展を爲しつゝあるを窺ひ得べし。

第三の實業銀行は、千九百三年新教者の銀行として知られたる巴里個人銀行者一團の設立する所なり彼の七十年代に於ける投機設立當時の遺兒にして、既に其の存續を續け難く解散を豫期したる巴里人銀行を合併し、其の資本を四千萬法より六千萬法に上せ、巴里人同盟銀行と改稱せり。同行も亦殆んど預金を受けず、手形業務及び取引猶豫仲買業務を手廣く經營し、なほ南米、希臘、露西亞、「モロッコ」「ルーマニヤ」に企業の設定を爲したり。特に「ルーマニヤ」に於ては「シャーフ、ハウゼン」銀行同盟及び關係的に其の姉妹會社たる國際試錐會社と協力し、彼地に石油業經營の爲め二千四百「レイ」を以て

「ルーマニヤ」王國株式會社と稱する會社を創立したり。猶巴里人同盟銀行は「シャーフ、ハウゼン」銀行同盟と謀り國際試錐會社の「ロートリンドン」大炭田の引受を爲さんが爲め、千六百萬馬の資本を有する國際炭礦會社を設立し、「モロッコ」に於ては「シユナイデル」會社と名づくる「クリユ、ソート」市の一大製鐵會社と提携し資本金六百萬法を以て「モロッコ」會社を設立したり然して同行が千九百十一年に於ける證券及び關與額は、四千九百四十萬法を數へ、手形有高一億一千七百萬法、取引猶豫による證券在高二千七十萬法、其の他の貸出金合計六千三百六十萬法、之れに對し手形引受け、四千九百萬法、借入金一億四千九百萬法を計上せり。

實業銀行に屬するものとして、更に數ふべきは新佛蘭西動産銀行及び太平洋彼岸銀行の兩者なり。其の創立當時に見れば此の二行は、上述諸

行に比し、遂に多く金融會社の性質を具備したりき。二行共に工業及び類似の企業に金融するも國債を發行せず、即ち國債發行に關する業務は大部分巴里及和蘭銀行及び巴里人同盟銀行の取扱ふ所なり。されば兩行は自ら設立したる企業の證券を所有すること比較的長期に亘り、從て是等の企業に關與する事久しきに亘る。約言すれば二行に於ては證券代位が最も重要な地位を占むるなり。

加之此の兩行にありては手形業務漸次衰退し從つて短期信用業務は證券取引猶豫仲買業務の形式によりてのみ行はる。其の際如何なる範圍に於て自己の設立せる企業の證券に貸出を爲すや明確ならざるものあり。近來に至り、特に佛蘭西動産銀行は眞の發行銀行となり了れり。然して其の沿革及び其の當初に於ける地位の事に就ては別に論及する所あるべし。何れにせよ兩會

社の特質は發行銀行又は發行會社が特に金融會社に變せんとする轉機の處を表示するものと云ふべし。

「バンク、ド、クレヂ」及び實業銀行は事實相互の間著明なる逕庭の存するは疑ふべきにあらざるも猶發行銀行の名稱を最も多く前者に對し用ひ得ずとは思はれず何となれば「バンク、ド、クレヂ」は「ソシエテ、ゼネラル」を除けば獨逸の大銀行に比しては其の業務の範圍狹しと雖も實際其發行業務を經營すればなり。兎に角實業銀行と眞の金融會社との差異のある所は能動的及受動的短期信用業務の擴張の程度と手形業務及取引猶豫仲買業務の範圍の廣狹如何に存す。(未完)

正貨補充問題と積極政策

高城 仙次郎

目 次

- 一 緒 言
- 二 正貨の流出と正貨の現在高
- 三 正貨補充と外貨輸入
- 四 正貨輸入と資本輸入
- 五 積極政策と我國民經濟
- 六 結 言

一 緒 言

目下我國公私の外債は無量十八億圓に達し、之に對する利拂の年額は八千萬圓に上るのみならず、輸入超過の爲めに外國に支拂ふ可き正貨は一箇年一億圓に達せんとせるに、一方政府及び中央銀行の所有に係る正貨は海外に存置せるものを合して僅かに三億七千萬圓を數ふるに過ぎざるを以て、若し從來の如く更に外債を以て我